5　環境に配慮した林業・漁業

○林業が盛んな紀伊山地

紀伊山地：雨が多く暖かい気候で、木の生育に適している

→古くから樹木を育てる林業が行われる

例）吉野すぎ（奈良県）や尾鷲（おわせ）ひのき（三重県）など、高品質な木材の生産

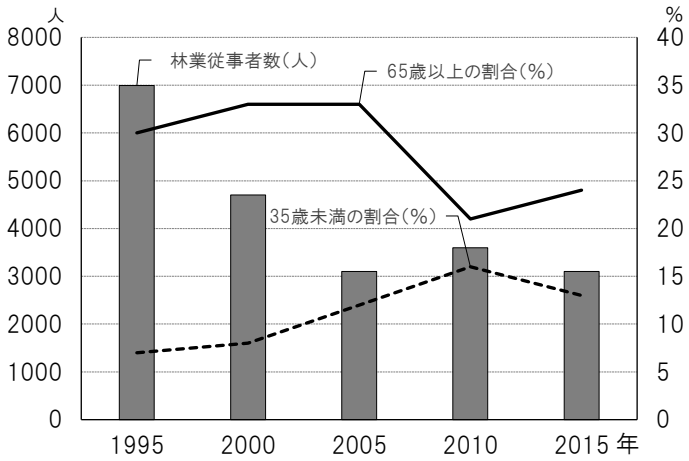
○林業が抱える課題とその対策

紀伊山地の森林：出荷できるスギやヒノキは豊富だが、伐採量は増えていない

- 安い外国産木材の輸入が増加
- 高齢化により働き手が減少、後継者が不足

〔対策〕 国や自治体が「緑の雇用」制度を始め、林業の仕事に就く人々がみられる

＜奈良・和歌山・三重の3県における林業従事者数の変化＞



○環境林を保全するために

森林の働き：木材の生産や土砂災害の防止、農業・生活用水の蓄えなど

→（　地球温暖化　）を防ぐ役割もあり、「環境林」を保全する取り組みが広がる

例）企業による植林作業への参加、森林を保全するための県民税など

○水産資源を保護する取り組み

近畿地方の沿岸部：古くから漁業が盛ん

→魚介類のとりすぎや過度の養殖による水質汚濁により、水産資源が減少

〔対策〕 日本海側の地域でズワイガニの漁獲量の制限など